

以下、本文-----

Catalytide による脳内アミロイドβ分解作用の検証に関する研究

1. 研究の対象

高知大学附属病院で、2000年10月から2020年9月までの期間の以下に該当するものを対象とする。アルツハイマー病で死亡後剖検を行った患者及びアルツハイマー病で原発性悪性脳腫瘍を併発し手術を行った患者の病理組織学的診断のため摘出された海馬を含む脳組織ホルマリン固定標本を対象とする。

2. 研究目的・方法

近年高齢化に伴いアルツハイマー病患者数は増加傾向にあります。しかしながら、現在アルツハイマー病による、幻覚、妄想(物取られ妄想が典型的)、抑うつ、意欲低下などの精神症状と徘徊、興奮などの行動異常等の症状を抑える対処療法はあるものの根本的治療薬は存在しません。本研究で用いる Catalytide (短鎖合成酵素ペプチド) は、動物を用いた研究においてアルツハイマー病原因タンパク質であるアミロイドβを分解し、アルツハイマー病モデルマウスへの投与において認知機能の改善が確認されています。本研究を行うことで、Catalytide の人脳切片での分解活性を検証することができ、今までにない根本的アルツハイマー病治療薬開発へつながります。

研究期間：倫理委員会承認日(2020年12月9日)～2025年9月30日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、認知機能スコア 等

試料：病理診断後の脳組織 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場

合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者：薬理学・秋澤俊史

連絡先：電話番号 088-856-6013、メールアドレス jm-momizit@kochi-u.ac.jp

-----以上